

2006 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	地方都市小委員会	主 査 名：北原啓司 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：西村幸夫 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方都市において、一種のブームとして登場している「街なか居住」について、この現象によって引き起こされる郊外住宅地の空洞化にも言及しながら、各自の研究成果を蓄積しながら、明らかにしていく。 ・研究成果を行政を交えた研究会で披露し、議論を深める ・研究成果を出版化に結びつける 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 北原啓司(弘前大) 瀬戸口剛(北大) 中出文平・樋口秀(長岡技大) 今野亨(ドーコン) 佐瀬守昭(福島県) 木谷弘司(金沢市) 野嶋慎二(福井大) 浅野純一郎(長野高専) 浅野聡(三重大) 福原由美(神戸大) 鶴心治(山口大) 出口敦・小林敏樹(九大)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2006 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：urban.nagaokaut.ac.jp/~plan/local/local.html

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物(シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 「街なか居住」青森研究会 参加者数 30 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 青森、長岡を対象に街なか居住と郊外居住との研究調査を実施 2. 八戸・青森・弘前において研究集会を実施、議論を深めることができた 3. 出版化については、まちづくり教科書の出版計画に合わせることにした
委員会活動の問題点・課題	1. 地方都市在住の研究者が多く、委員会を開催することが経費的に困難

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。